



北鎌倉・江ノ電ウォーク

2017.03.26 10km ゆったり 8km

コース

往 路 富士宮駅南口＝熱海駅(乗換)＝大船駅(乗換)＝北鎌倉駅(WC)
(JR) 6:50(7:10 発) 8:17/8:23 9:22/9:35 9:38

ウォーク 北鎌倉駅(スタート)・・・浄智寺(体操)・・・葛原岡神社・・・銭洗弁天・・・鎌倉大仏・・・
10:05 10:15～30 10:50～11:00 11:10～30 12:00～20
鎌倉海浜公園(昼食)・・・江ノ電・長谷駅＝電車＝鎌倉駅・・・豊島屋・・・
12:45～13:25 13:45～13:53 13:59 14:09～14:25
鶴岡八幡宮・・・建長寺・・・北鎌倉駅(ゴール) * 江ノ電は毎時 5・17・29・41・53 分発
14:35～15:00 15:20～15:45 16:10～33

復 路 北鎌倉駅＝大船駅(乗換)＝小田原駅(乗換)＝熱海駅(乗換)＝富士駅(乗換)
16:33 16:37/16:45 17:14/17:17 17:40/17:51 18:31/18:36
＝富士宮駅 18:55

* ゆったり: 北鎌倉の1駅先の鎌倉で下車し、高德院(鎌倉大仏)まで歩き、周辺散策と大仏見学。以降はふつうコースと同じ。

緊急時連絡

市川 文雄 090-3835-5203
井上とし子 090-2136-7308



銭洗弁天

銭洗弁財天宇賀福神社(ぜにあらいべんざいてんがふくじんじゃ)は、神奈川県鎌倉市佐助にある神社である。境内洞窟にある清水で硬貨などを洗うと増えると伝えられていることから、銭洗弁財天(銭洗弁天)の名で知られる。巳年である1185年(文治元年)の巳の月(旧暦4月)巳の日に見た霊夢に従い、佐助ヶ谷の岩壁に湧く霊水を見つけ、そこに洞を穿ち社を建てて宇賀神を祀ったと伝えられる。同じく巳年の1257年(正嘉元年)に、北条時頼がこの霊水で銭を洗って一族繁栄を祈ったのが銭洗の始まりだといわれる。

鎌倉大仏

与謝野晶子の歌でも知られる鎌倉大仏は、高德院の本尊で青銅製の「阿弥陀如来坐像」。建立当時には金箔が施されていた。最初の大仏は木造で1243年(寛元元年)に完成したが、台風により崩壊したため、1252年(建長4年)、新たに青銅製の仏の鑄造が始められ、大仏殿に安置された(完成した時期は不明)。大仏殿は高さ40メートルにもなる巨大な建物だったというが、1495年(明応4年)の「明応の大地震」による津波で流された(1498年(明応7年)ともいわれる)。以後、鎌倉大仏は露坐(ろざ)となる。仏建立の理由は不明であるが、死者の怨霊を鎮めるためとする説が有力。高さ13メートル(台座共)、総重量122トンで宋の影響を受けた仏像は、国宝に指定されている

コースの概要

JR 横須賀線の北鎌倉で下車、ゆったりコースは鎌倉駅まで行きます。駅前でトイレを済ませ浄智寺入口で体操です。ここから葛原岡(くずはらおか)神社まで短い距離ですが坂道のハイキングコースとなります。あとは下りだけで最初の目的地、銭洗弁財天宇賀福神社(通称:銭洗弁天)に到着します。その後は閑静な鎌倉の裏道を通り鎌倉大仏殿です、ここではゆっくり拝観して頂きます。昼食は観光客で賑わう商店街を通り由比ヶ浜の鎌倉海浜公園です。午後はお待ちかねの江ノ電で長谷駅から鎌倉駅まで3区間乗車します。非常に混雑しますので歩こう会の旗を見失わないように歩きましょう。鶴岡八幡宮参拝の前に「鳩サプレー」の豊島屋本店でお土産タイムです。八幡さんからは上り坂がありますが、登りきると桜の名所でもある建長寺に到着、拝観します。帰りも北鎌倉駅から富士宮駅まで JR です。

建長寺

建長寺(けんちょうじ)は、神奈川県鎌倉市山ノ内にある禅宗の寺院で、臨済宗建長寺派の大本山。山号を巨福山(こふくさん)と称し、寺号は詳しくは建長興国禅寺(けんちょうこくぜんじ)。鎌倉時代の建長5(1253年)の創建で、本尊は地藏菩薩、開基(創立者)は鎌倉幕府第5執権北条時頼、開山(初代住職)は南宋の禅僧蘭溪道隆である。鎌倉五山の第一位。境内は「建長寺境内」として国の史跡に指定。

次回申込 (昼食場所) 岳南電車沿線ウォーク

☆期 日 4月23日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:50
☆参加費 1,300円
富士宮駅以外から乗車する場合は600円で、JR切符は各自購入

☆〆 切 4月18日(火)

狩宿桜まつりウォーク

☆期 日 4月8日(土)
☆集 合 富士宮駅南口 9:00
☆参加費 1000円(お弁当付き) 一般も同額
☆歩行距離 8km
☆帰 着 15:00頃
☆〆 切 4月4日(火) 定員120名になり次第締切ります。

鎌倉とは

源頼朝朝時代に政治軍事的消費都市として栄えた、実質的な日本の首都であった。南北朝～室町時代には鎌倉公方が所在した関東の首府でもあった。地名については諸説あるがそのうちの一つは次の通り。鎌はもともとは「かまど」のことで、倉は「谷」のことだといわれる。鎌倉の地形は、東・西・北の三方が山で、南が海になっている。形は「かまど」のようで、「倉」のように一方が開いているので「鎌倉」となった。

鶴岡八幡宮

鶴岡八幡宮は、鎌倉市にある神社。武家源氏、鎌倉武士の守護神。鎌倉初代将軍源頼朝ゆかりの神社。境内は国の史跡に指定されている。京都の石清水八幡宮を厚く信仰していた源頼義が前九年の役で奥州の安部氏を平定した後、康平6年(1063)8月、京の石清水八幡宮を鎌倉由比ヶ浜郷に勧請し社殿を創建した。その後、治承4年(1180)、源頼朝が鎌倉入りするや由比ヶ浜の八幡宮(元八幡)をこの地小林郷に移した。建久2年(1191)には武士の守護神の宗社に相応しく上下両宮の現在の姿に整えた。